

社名 株式会社ブラザー
 創業 1955年
 資本金 2,000万円
 従業員数 50名
 代表取締役社長 石田 幸兒
 ISO認証 ISO9001 2003年5月認証取得
 ISO14001 2004年12月認証取得
 事業内容 (1) 半導体製造装置関連の精密・厚付無電解ニッケル
 及び大型無電解ニッケルの表面処理加工
 (2) セラミックス上の無電解ニッケル、特殊表面処理加工
 (3) エンジンのシリンダー内面の硬質クロム
 表彰・認定
 ・神奈川県優良工場
 ・川崎市優良企業
 ・神奈川県知事指定 かながわ中小企業モデル工場
 ・川崎ものづくりブランド

本社所在地 〒210-0854 神奈川県川崎市川崎区浅野町3-8
 TEL: 044-322-7571 FAX: 044-322-7780

アクセス



【バスでお越しの場合】
 浜川崎駅東口バスターミナル8番乗り場で「川22系統 三井埠頭行」に乗車。
 「浜町二丁目」または「浜町三丁目」停留所下車（バス乗車時間約15分）。
 バス停より徒歩約7分
 【お車でお越しの場合】
 首都高速湾岸線神奈川1号線（横羽線）
 ・東京方面から → 出口「浜川崎」にて下車、Uターンして東京方面へ直進
 ・横浜方面から → 出口「浅田」にて下車、直進



www.brotherplating.co.jp

株式会社ブラザー企業サイト
 スマホ版はこちらから



BROTHER CO., LTD.
 CORPORATE PROFILE

PIONEER OF ELECTROLESS NICKEL PLATING

メッキでモノづくりに未来を

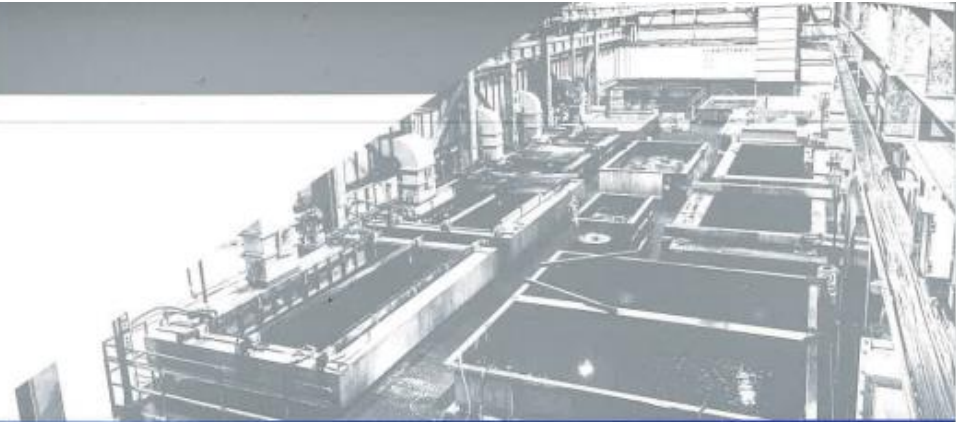


株式会社ブラザー

OUR HISTORY

メッキの技術革新と共に。

素材に新たな特性を付与するメッキ技術は、高度化する日本のモノづくりの根幹を支えています。株式会社ブラザーは創業以来、無電解ニッケルメッキの可能性を信じて「産学共同研究」を展開し、お客様のニーズに合わせて進化を続けてまいりました。私達はこれからも無電解ニッケルメッキのパイオニアとしてさらなるイノベーションを加速させていきます。



ブラザーの歩み



<p>1955 川崎市川崎区において ブラザーメッキ工業所創業 自動車部品の 表面処理加工を行う</p>	<p>1961 川崎市中原区に 玉川工場を新設</p> <p>1964 ブラザー電化工業株式会社に 社名変更</p> <p>1968 玉川工場を横浜に移転 硬質クロム部門・ 機械加工部門を新設</p>	<p>1972 株式会社ブラザーに 社名変更</p> <p>1973 自動車鉛メッキ設備増設</p> <p>1974 研究開発部を新設</p> <p>1978 無電解ニッケル メッキ設備完成 表面処理加工部門操業開始</p>	<p>1984 川崎区遠野町に 本社業務を全面移転</p>	<p>1990 国内大手半導体製造装置 メーカーと取引開始</p> <p>1991 大型無電解ニッケルメッキ 設備完成（高さ2メートル）</p> <p>1995 神奈川県優良工場表彰</p> <p>1996 川崎市優良企業表彰</p> <p>1997 神奈川県知事指定 かながわ中小企業モデル工場指定</p>	<p>2003 ISO9001 認証取得</p> <p>2004 斉藤電線工業を 吸収合併（第二工場） ISO14001 認証取得</p> <p>2006 第二工場に 超大型無電解ニッケルメッキ 設備完成 大型アルミ専用無電解 ニッケルメッキ設備完成</p>	<p>2010 新クロムメッキライン完成</p>	<p>2020 大型ファインブラック® ライン完成</p>
--	--	--	--	---	---	-------------------------------------	--

1950
1960
1970
1980
1990
2000
2010
2020

生産実績	<ul style="list-style-type: none"> 銅・ニッケル・クロム・亜鉛メッキ開始 自動車部品へのメッキ開始 金・銀・ロジウムメッキ開始 	<ul style="list-style-type: none"> 硬質クロムメッキ開始 印刷機器・建設機械・産業機械分野へ参入 印刷用ロール・油圧ロッド・金型へのメッキ開始 アルミ素地上への硬質クロムメッキ設備新設 大手農機具メーカー製エンジンへのメッキ開始 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車産業へ参入 ブレーキ部品への亜鉛メッキ開始 精密OA機器産業へ参入 OA事務機部品、カメラ部品への無電解ニッケルメッキ開始 	<ul style="list-style-type: none"> エレクトロニクス分野へ参入 半導体製造装置部品への無電解ニッケルメッキ開始 	<ul style="list-style-type: none"> 液晶製造装置部品へのメッキ開始 セラミックス上への無電解ニッケルメッキ開始 大手光学機器メーカーと提携して量産化 	<ul style="list-style-type: none"> 大型アルミ部品へのメッキ開始 大型カーボン材への無電解ニッケルメッキ開始 大手カーボン材加工メーカーと提携して量産化 	<ul style="list-style-type: none"> 第17回東京ビッグサイト機械産業技術展にて「ファインブラック®」を発表 	<ul style="list-style-type: none"> ファインブラック®が複数の大手光学機器メーカーから評価され、受注開始 	
技術・開発史	<ul style="list-style-type: none"> 関東学院大学との共同研究スタート 	<ul style="list-style-type: none"> 量産化の難しいアルミ合金上への硬質クロムメッキ技術を開発 			<ul style="list-style-type: none"> セラミックス上への厚付（200μm）無電解ニッケルメッキ技術を開発 	<ul style="list-style-type: none"> ガラス上への無電解ニッケルメッキ技術を開発 大型カーボン材への無電解ニッケルメッキ技術を開発 	<ul style="list-style-type: none"> 黒色無電解ニッケルメッキ（ファインブラック®）の開発に成功 炭素繊維強化プラスチックからの炭素繊維の脱落防止方法で特許取得（特許第5,157,878号、第5,160,766号） 		

無電解ニッケルメッキの先導者として。

大小さまざまな専用メッキラインにより、ピン類から大型産業機器サイズまで、オーダーメイドのメッキ処理を実現。業界屈指の対応力で、半導体・液晶製造装置や精密金型のメーカー様より高い信頼を獲得しています。

独自の技術とともに、多彩なニーズに柔軟に対応

無電解ニッケルメッキ

磨かれた現場力

鉄鋼材、ステンレス、アルミ、銅、真鍮はもちろん、大型セラミックスやカーボンなどの難素材への厚付けメッキにも対応いたします。多品種少量生産方式の採用により、試作品は1個からメッキ可能です。



テレビ・PC
液晶パネル

超均一厚付

均一かつ精密にメッキ処理できる無電解ニッケルメッキのメリットを最大限引き出すための技術ノウハウを積み重ねることで、1~200 μ mまでの膜厚に対応。極限の精度が求められる半導体や液晶製造装置にもこの技術が採用されています。



半導体
製造装置



自動車
コンピュータ
部品

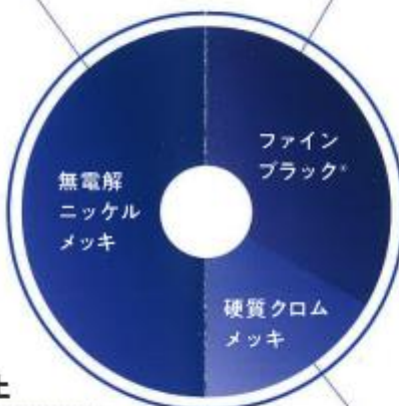
付加価値向上

無電解ニッケルメッキの特徴である硬度・耐摩耗性・耐腐食性等の向上はもちろん、精密機械部品に求められるミクロン単位の寸法精度を厳密に仕上げることで、品物の付加価値を最大限まで引き出します。

難メッキ素材への実績

セラミックスやカーボンへの厚付けが難しいとされる無電解ニッケルメッキですが、ブラザーでは専用ラインにより多くの実績を重ねています。皆様の課題解決のために、最適な組み合わせをご提案させていただきます。

ブラザーの事業領域と 主要な実用例



RoHS 指令対応

黒クロムメッキと同等の反射率

ファインブラック*

EU加盟国内での「六価クロム」の使用制限に伴う代替技術として、私たちが開発したのが黒色無電解ニッケルメッキ「ファインブラック*」です。この新技術は、複雑な形状品においても均一なメッキ皮膜を得ながら、拡散反射率4~6%の黒色化処理が可能。医療現場や光学分野での活用が期待されています。

医療機器

光学機器

特殊技術でアルミの弱点を克服

硬質クロムメッキ

軽量のアルミの特性を維持しながら耐久性の向上を図るために開発された独自の工法「アルミシリンダーへの硬質クロムメッキ」です。高い硬度と精密性を実現することで、精密エンジン部品の要求品質にお応えしています。

精密
エンジン部品



PICK UP!

国内有数の超大型 メッキ加工設備

幅2m・長さ4m・高さ3mの国内最大級の超大型無電解ニッケル専用ラインを完備。従来、無電解ニッケルメッキでは困難とされた大型部品への均一かつ厚付けメッキも可能にした技術は「川崎ものづくりブランド」として認定されました。

超大型無電解ニッケルメッキライン



ファインブラック*ライン



クロムメッキライン



先進の品質管理・開発体制



徹底したメッキ液管理

メッキ液は使用すればするほど状態が変化し、安定性が低下してしまいます。ブラザーでは自動分析装置による最適なメッキ液管理によって、有効成分の減少、添加剤の濃度変化、不純物の流入などから起こるさまざまな不良や不具合を防止しています。

よりよい品質を目指して

常に最高の品質で製品をお届けするために、卓越した技術*を持つ作業員と経験豊富な検査員が、製品の受入れから納品まで責任を持ってモノづくりをしております。他社では不可能な案件でもまずはご相談ください。

*全国めっき技術コンクール【無電解ニッケルめっき部門】1位受賞

メッキ液の常時分析	処理液の濃度・pH・温度 自動管理
熟練の作業員	経験豊富な検査員

主要設備・装置

- ・超大型無電解ニッケルメッキライン
- ・精密無電解ニッケルメッキライン
- ・ファインブラック*ライン 他
- ・原子吸光分析装置
- ・ICP発光分光分析装置
- ・走査型電子顕微鏡 (SEM) 他

ISOへの取り組み

今やグローバルライセンスとなった「ISO」。私たちは、業界に先駆け2003年に品質マネジメントシステム「ISO9001」、2004年に環境マネジメントシステム「ISO14001」を取得。継続的な品質改善と持続可能な社会の実現に向けて努力を続けていきます。



品質管理

QC

QUALITY OF CONTROL

無電解ニッケルメッキを主軸として、不可能を可能にしてきたブラザー。そのノウハウを活かして、品質管理や開発力の強化、IT化による情報の活用にも積極的に取り組んでいます。

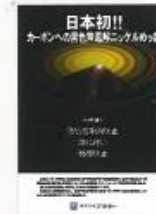
産学連携により最先端技術開発に注力

メッキ処理技術は、モノづくり大国・日本にとって不可欠な技術です。私たちは、創業当時より表面処理の世界的権威である関東学院大学 材料・表面工学研究所と産学一体となった研究開発を進めてまいりました。これからは互いの敷居を融合しながら、無電解ニッケルメッキの明日を切り拓いていきます。



関東学院大学

展示会への出展



自社開発技術

研究開発

オンライン・クラウド管理システムの活用

- ・AWSを利用した生産管理システムを運用
- ・防水、耐薬品タブレットを使用したリアルタイムでの作業状況の把握
- ・技術情報のデータベース化による作業の効率化や情報共有の迅速化の推進



R&D

RESEARCH AND DEVELOPMENT

R&D志向の企業としてこれからも

私たちブラザーは、セラミックスへのメッキをはじめ、無電解ニッケルメッキの可能性を次々に広げてきました。その結果、それらの技術について皆様から高い評価をいただいております。これからも「技術開発力のブラザー」をテーマに、お客様の課題解決にお応えしていきます。



株式会社ブラザー
代表取締役社長 石田 卓兒



HEY, BROTHER!

SCENE. 1

二人は、“バリバリブラザー”。
新技術を先導する実力派コンビです。

石井：僕は転職だけれど、実はウチに来る前に一度出金っているんだよね。

新井：そうそう「ハイテクノ」(メッキの上級技術を習得する講座)でだったわ。受講者は、それこそ大学院を出た技術者や学者みたいな人ばかり、その中で、毛色の違う人がいるなど思ったのが石井さんだった。一人だけ浮いていたから(笑)。

石井：それはお互い様だよ。僕も同じことを思ったんだから(笑)。まさかこの会社で再会するとはね。初対面時から只者じゃない雰囲気を感じてたけれど、新井さんは「電気メッキ1級技術士」。金メダル級のメッキ職人だから営業の僕としても期待しているんだ。今度、ウチの成長株である「ファインブラック」の新ラインを担当してくれるんだよね。

新井：任せてください！僕は必要とされたら、猛烈燃えるタイプですから。前の会社は「電気」でしたが、こっちは「無電解」。同じメッキでも実は全然違うので転職にはちょっと悩んだけど、社長に「来てくれないか」と誘われたからやるしかないって。

石井：前の会社と比べてウチの会社はどう？

新井：僕の技術提案も受け入れてくれるし、設備投資もしてくれるし。仕事をやればやるだけ評価されるから、もう天国です(笑)。

石井：僕も新井さんと安心して任せられるし、ウチの会社のムードメーカーとしても期待しているんです。

新井：そう言ってもらえるのは僕自身が楽しく仕事できていからかな。石井さんは、現場の提案に対するお客様への確認・調整もスピーディーでウチとお客様をつなぐかけがえのない存在。技術面での理解も深いから分かり合えるんだ。

石井：お互い働き盛りの40代。会社を引っ張る要として、これからもバリバリいきたいよね。

営業部部长
石井
X
新井
製造部ベテラン

Brother's
Advance

難素材のメッキもお任せ！

セラミックスやカーボンへのメッキは高度な技術が必要ですが、そんな「難素材」に対応できるのも私たちブラザーの強みです。



Brother's
Advance

国内有数の超大型メッキ加工設備

大型の半導体・液晶製造装置などに均一かつ厚付けメッキができる技術が認められ、「川崎ものづくりブランド」として認定されました。

SCENE. 2

我ら、“メラメラブラザー”。
世代は違えどメッキにける情熱は同じ！

伊藤：僕は65歳、宮下は32歳。こんなに年が離れているのに“ブラザー”だなんて言っているのかわかんない(笑)。実際のところ宮下は僕の息子のようなもので、よく飲みに入れまわしていると言ったほうが正確だよ。

宮下：伊藤さんこそ営業の責任者でとても偉い人なのに気軽にお願いいただき、ごちそうになってばかりで申し訳ありません。

伊藤：気にしない、気にしない。僕も若いころは先輩によくおごってもらったもんだよ。「お前は電車賃だけ心配すればいいんだから」って。その恩返しを今度は後輩にしようと思ってやっているだけなんだ。宮下は若くして家庭を持って、家も建てたしね。まだ遊ばない盛りなのにといつも感心しているんだ。だから、たまには息抜きさせてあげたいと思うのは親心というもんだよ。

宮下：ありがとうございます。伊藤さんは誰にでもフランクで面談がいいね。僕も困った時にまず相談するのが伊藤さんです。高卒から働いていますが、ずっと甘えてし

まっぴりかですね。
伊藤：なんだか、お互いのほめ合いになってきたぞ(笑)。ちょっとは仕事の話をしようじゃないか。

宮下：そうですね。僕は半導体製造装置や液晶製造装置などの部品をメッキする現場で働いています。うちの会社の強みを一番発揮できる部署である一方で、高価な装置に使われる部品にメッキするので、品質などにとても神経を使います。その営業を指揮する伊藤さんのプレッシャーも相当でしょうね。

伊藤：そりゃ大変なこともあるけれど、国内でも数社しか持っていない技術のセールスを任せられているんだからやりがいの方が大きいよ。僕は営業、宮下は現場。これからも世代を超えて一緒に頑張っていこうじゃないか！

営業本部部长
伊藤
X
宮下
製造部



HEY, BROTHER!



SCENE. 3

営業部部长
富澤
×
菅原
製造部リーダー

私たち、「ワイワイブラザー」。
似た者同士、飲み現場では盛りあがっています。

富澤：僕は営業、菅原さんは「硬質クロム」の現場。仕事は違っても二人とも大手のお客様のモノを扱うリーダー的立場だから、やりがいを感じると同時にプレッシャーも感じるよね。

菅原：富澤さんは半導体・液晶製造装置のトップメーカーを相手に日々営業活動しているわけだから、プレッシャーは僕の比じゃないですよ。

富澤：お互いに派遣を経て社員になったから、最初はメッキ技術や現場を学ぶのが大変だったね。「菅原さんをごく頼りにしている」という現場の話をよく聞くよ。

菅原：それは嬉しいですね。僕は前職が食品関係でしたので最初は本当に面食らっていましたが、富澤さんから製品知識を教えてもらってとても助かりました。

富澤：メッキの技術や現場を知らない営業トークもできないから、入社後の一年間は僕も必死になって勉強しました。いろいろ共通項がある二人だけに、今では気のけない飲み友というわけで(笑)。それにしても菅原さんの飲

み会の段取りにはいつも感心するんだ。日程やお店選びなど、幹事をやらせたらピカイチだね。

菅原：それはそうですね。毎日あれこれ悩みながら作業の段取りをしているんですから(笑)。楽しいお酒だから、僕も喜んでやらせてもらっています。僕が感心するのは、富澤さんは営業マンだからか飲んでも自分を失わないこと。こんなに一緒に飲んでいても酔った姿を見たことがない。

富澤：ところで、若い子は僕らのようにあまりお酒を飲まなくなったね。会社の行事でも「行かないとだめですか？」って、自分の顔を売るいい機会だと思うんだけどなあ。

菅原：それは僕ら世代の戯言です!(笑)。

Hey, Brother!



Brother's Advance

独自の技術、軽合金への「硬質クロム」って？

軽量なアルミの特性に耐久性などをプラスできる独自技術が、軽合金への「硬質クロムメッキ」、精密エンジン部品への活用が期待されています。



製造部先輩
大橋
×
横山
製造部後輩

SCENE. A

Brother's Advance

男女間わない育休取得実績

女性だけでなく男性社員の2ヶ月間の育休取得の実績も。男女問わず育児に専念できる環境があります。

私たち、「キラキラブラザー」。
品質に目を光らせ、
ネコ的话题に目を輝かせています。

大橋：メッキは男の世界だと思われがちですが、ブラザーは女性も活躍できる会社です。せっかくの機会ですからしっかりアピールしておきますね。私なんて20年もこの会社に所属しているんですよ(笑)。

横山：私は5年目です。最初は期間限定で働く予定だったのですが、居心地がいいのでそのまま社員にしてもらいました。

大橋：私たちはメッキの前処理や検査を担当する者同士。品質を維持する上で欠かせない工程だから、とてもやりがいがありますね。

横山：大橋さんは数種類も多い物をテキパキさばいでいて「すごいな！」って、いつも感心しています。ベテランの大橋さんは、私にとっても相談できるお姉さんです。仕事のことはもちろん、ネコ好きという共通点もあるから、プライベートでも話題は尽きませんよ。

大橋：横山さんは仕事で丁寧だし正確だから安心しています。私たちが担当している検査や梱包の仕事は、お客様の手元に商品をお返しする最後の工程にあたるので、お客様のニーズにあわせて丁寧に仕上げていきたいですよ。

横山：メッキ前後の処理や検査は直接会社への評価につながりますね。実際にお客様からのご紹介で新しくお取引が始まることも多いです。

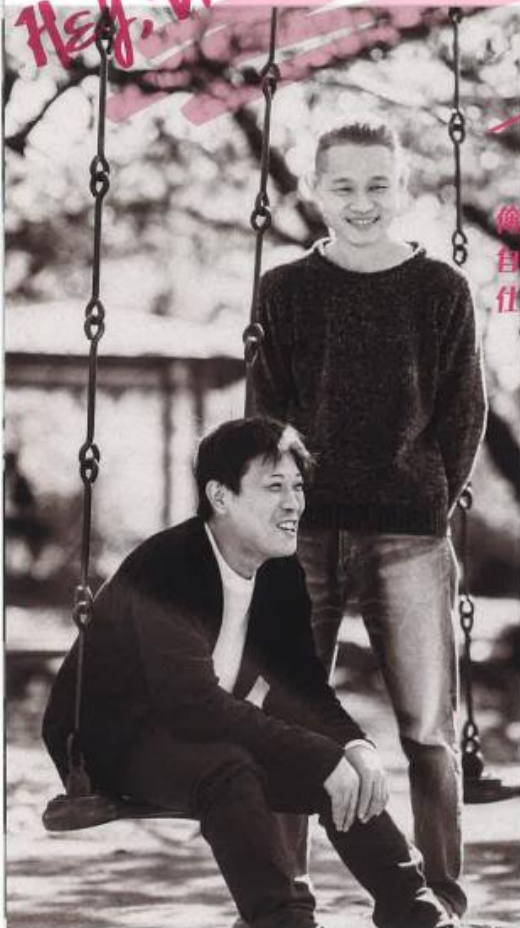
大橋：ウチは業界でトップレベルだけど、規模としては小さな会社。でも小さいからこそアットホームな雰囲気があって、私には心地いいかな。

横山：同感です!



Hey, Brother!

HEY, BROTHER!



SCENE. 5

製造部リーダー

猪瀬



市川

製造部後輩

俺たち、“トンガリブラザー”。
自分のスタイルを貫きながら、
仕事は本気で!

猪瀬: 僕たちが担当する「セラミックス」は、陶器の一種だから処理の過程で割れたり欠けたりしないように本当に気を使うよね。

市川: 一台、何百万円ってしますからね。僕も入社当初はメッキの奥深い技能を身につけるのに苦労しました。

猪瀬: 市川は会社員とは思えないヘアスタイルをしているけど、どんな仕事も最後まできっちり仕上げられる。だからリーダーの僕としても頼りにしているし、安心して仕事を任せられるんだ。

市川: 僕は外見で判断されるのも、縛られるのも苦手だから(笑)。こんな僕でも、やることさえやればきちんと認められるのがウチのいいところですよ。作業中は真剣ですが、ひとたび休憩に入ると仲間同士でふざけ合ったり笑いが絶えない自由な雰囲気か気に入っています。ヘアスタイルのせいかわはトンガって見られるかもしれませんが、猪瀬さんだって現場ではトンガった感ビンビンですよ(笑)。現場を見回りながら、相いけ所への自配りがすごいというが、鋭い!

猪瀬: 確かに一時は忙しさやリーダーとしての責任感からビリビリしていたかもね。

市川: でも気軽に話しかけてくれるし、後輩の意見を聞きながら仕事を進める猪瀬さんの姿は、僕にとってもお手本なんです。

猪瀬: 市川はもう基本はバッチリだし、新しいことにどんどんチャレンジしてほしいな。自分の糧をもっと広げられるはず。

市川: 了解です。で、この際のお願ですが、いくら犬好きでもワンちゃん人形を何匹も置くのはやめてください。控室のスペースが圧迫されていますから(笑)。

猪瀬: 癒やしのひと時を奪わないでくれよ(笑)。

Brother's Advance

ブラザーは自由な社風

- ・形式的になりがちな朝礼はありません。
- ・若手から積極的に育児取得をしています。
- ・髪型・髪色も自由です。



Brother's Advance

ブラザー1日の流れ

基本は17時退勤。従業員それぞれがワーク・ライフ・バランスを実現させています。



SCENE. 6

僕らは、“コツコツブラザー”。
地道な努力で信頼と実力を築き上げていきます。

成田: 僕は社員の実技トレーナーみたいな役割を任されていて、新人が入社してくると、まず僕のところで技術研修してから各部署へ配属されていきます。素材は鉄、銅、真ちゅうなど千差万別なうえに、小さなモノを中心に月に1万3千個ほどの多品種を扱うから、メッキの基本を学ぶフィールドとして最適なのでしょう。そんな門下生の一人が米川。もう5年くらいになるかな?

米川: そうですね。入社してからずっと成田さんにお世話になってます。僕は一人、不器用なうえに物覚えも悪くて、恥を授けられてもおかしくなかったのですが、成田さんが根気よく教えてくれたから、今の僕があります。

成田: 確かに、固々としていたね(笑)。叱った時もあったけれど、それは早く成長してほしいからなんです。そんな米川がちょっと変わったぞ!と思ったのは、半年位違う部署に配属された後、再び僕のところに帰ってきた時、随分違うなと感心したよ。

米川: それまでは成田さん甘えていたんでしょね。大きげに言えば、親元を離れて「これじゃいけない、自立しないと」って気づいたんです。教えられた経験を活かしながら自分で工夫し、やり方を変えてみました。

成田: 一時は心配もしたけれど、絆の元を離れて本気で頑張ったというわけだ。今では本当に頼りになる人材に育ったなと思っているよ。仕事の流れを見極めながら努力を続けていけば、さらにステップアップできるはず。期待しているよ。

米川: ありがとうございます。まだまだ半人前ですがこれからもよろしくお願いします!

HEY, BROTHER!



CHECK IT!

あなたもブラザーの仲間になろう